

令和7年7月22日(火)

## 医療・福祉



皆さんは歯科技工士という職業を知っていますか。虫歯などで歯に穴が開いた場合、歯科医師が治療します。しかし、虫歯が過度に進んでしまったり、多数の歯が失われてしまったりすると、それが難しくなります。

そうになると、歯科技工士の出番です。歯科医師が患者の歯を加工して、型取りをし、模型を作製します。その模型を基に、どういう形態や素材、方法がいいか、歯科医師と歯科技工士が密に連携し、患者のための最適な人工の歯や入れ歯を作ります。

型取りをした模型を使えば、簡単に人工の歯や入れ歯が作れると思われが

### 歯科技工士

## 最新ITも扱う神業職人

パソコンを使ったCAD/CAM作製の授業風景（鹿児島市の鹿児島歯科学院専門学校提供）



ちですが、そうではありません。どんなに精密な型や高性能な材料を使用しても、必ず寸法誤差が生じます。その誤差を経験と熟練した職人技で修正

し、患者さんにとって最適なものへと完成させます。さらに、一つ一つが手作りで、まさに神業と言っているでしょう。

最近では、口腔内光学スキャナーを用いてパソコン上で型取りしたり、CAD（コンピューター支援設計）とCAM（コンピューター支援製造）でデザインした歯を、3Dプリンターで作ったりできるようになりました。

歯科技工士は熟練した手仕事とともに、最新のIT（情報技術）も扱う最先端の職種です。人生100年時代といわれる今、「食」を支えるとても貴重な存在だと言えるでしょう。

歯科技工士になるには、短大や大学などの養成機関で2年以上学び、必要な知識と技能の習得が必要です。鹿児島県には専門学校があります。その後、国家試験に合格し、免許を取得すると、歯科技工士として働くことができます。（鹿児島県歯科医師会広報委員・石神慶一郎）